

大船渡市出身ピアニスト主催

第8回 東日本大震災

チャリティーコンサート



絵：中村太一『無題』

program

サン・サーンス：《サムソンとデリラ》より「あなたの声に私の心は開く」
ビゼー：《カルメン》より「ハバネラ」
フォーレ：夕暮れ 岡村彬子 (メゾソプラノ) 桑原花子 (ピアノ)

ビゼー：カルメン幻想曲 (ローゼンブラット編曲) Duo Espoire (2台ピアノ)

ラヴェル：ボレロ 粋鼓隊 (おはやし) 佐藤大希 (ドラム)
ICHIRO&MAINA (ダンス) Duo Espoire (二台ピアノ)

2018.10/19(FRI)

19:00 start 18:30 open

入場無料

杜のホールはしもと

横濱線・相模線・京王相模原線 橋本駅より 徒歩1分 ミウテ橋本7階



平成 30年度 相模原市文化芸術発表・交流活動支援事業補助金交付事業
後援：相模原市 相模原市教育委員会 主催：朋の会

お問い合わせ

朋の会
042-772-8055
tomonokai0305@gmail.com

梅雨明けの爽やかな大船渡で、たくさんのお客様を迎え、第3回ふるさと復興祈念コンサートを行うことができました。

今回は、前年度橋本で開催したチャリティーコンサートに出演して下さったバンドネオンの渡辺公章さん、コンテンポラリーダンサーの水越朋さんに、ピアノ桑原裕子、桑原花子で、ラヴェルやピアソラなどを演奏しました。また、大船渡出身の舩の会で募集した詩に、作曲家の松波千映子さんが合唱曲にしてくださった「坂を登れば」を、山田タマルさんの弾き語りで初演致しました。

翌日は、大船渡中学校と大船渡高校でアウトリーチコンサートを行い、高校では550人の生徒の真ん中にステージを置き、ダンサーが這ように生徒の間を踊った時には、さざ波のようなざわめきがあり、初めて見る楽器と初めてのダンスに、喜んでくださった様子が演奏者にも伝わってきて、嬉しい体験でした。

このような活動を通して、ふるさとでの復興を願えられる幸せを感じる3日間でした。

恒例になりつつある、地元の愛好家とのコラボレーションも、楽しい交流の場になりつつあります。

皆さまからの温かい募金があって、成り立っている活動です。

ありがとうという気持ちをたくさん込めて、演奏いたします。

朋の会 桑原裕子



写真提供：大船渡スタジオ

坂を登れば

作詞 菊池文雄

坂を登れば見えてくる

船が行き交う 静かな港

丘の上の 古びた投合

窓に映る 青い空

皆で学んだ 教室に

思いを馳せる 仲間たち

帰ってみたい 思い出の道

風に乘って流れ来る

音楽室の ピアノの音

耳を澄ませば 聞こえる歌声

窓に映る 白い雲

静かに流れるメロディに

心惹かれる 仲間たち

歌ってみたい 思い出の歌

元氣な声が聞こえる

思い思いの 昼休み

弁当類張る 母の味

本を読んだり 話したり

心がなごんだ あの時間

楽しさあふれる 仲間たち

覗いてみたい 思い出の時

太陽の光が 身体にそそぐ

暑い日寒い日 秋探後に

ボールを追いかけ 友と駆け

流した汗の さわやかさ

舩のように ほどけぬ友情

信じあえた 仲間たち

戻って見たい 思い出の校庭